

泡盛製造業の振興に向けた内閣府の主な取組

内閣府沖縄振興局
配布資料

平成29年3月時点

戦略目標	主な手段	泡盛業界の主な取組	内閣府の取組
マーケットの拡大	認知度向上 ・ 消費拡大 (一般酒)	泡盛カテル(58KACHA-SEA)の普及 (試飲機会の提供、取扱店の拡大等) 試飲販売会、商談会参加 等	(実施中) 泡盛業界の取組を後押し クールジャパン戦略の推進 (クールジャパン推進会議の沖縄開催等) (沖縄総合事務局で実施中) 泡盛の海外展開を後押し (ブランディングを行い欧米市場を目指す)
	高付加価値化 ・ ブランド化 (古酒)	「古酒の郷」事業 (古酒の貯蔵等) 協同組合方式による事業 (原料米の一括購入等) 共同配送センター(東京)の運用	酒類製造業の振興策等の検討
競争力強化 (経営改善)	低コスト化 (輸送の協同化等) 人材育成 など		泡盛全酒造所との直接対話 (現場の実情、経営基盤の強化策、将来ビジョン等について直接対話) (検討中) 泡盛業界の人材育成を後押し (若手中核人材を対象に、業界の将来を考える会議を開催)

※その他、沖縄の本土復帰に伴う特別措置として、酒税の軽減措置（酒税を35%軽減）がある。

※商品開発、経営の近代化等は個社で対応している。